

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立津山高等学校		
実践者等	吉澤 周人	実践日	令和3年6月3日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語（古文）		
対象生徒（学年等）	普通科2年次		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)	枕草子		
使用したアプリ等	Classroom、Jamboard		
実践の概要（ねらい等）	Jamboard を使って「すさまじ」を定義する。		
実践の内容			
枕草子「すさまじきもの」の第3時の実践。第1、2段落と読解を進め、本時は「『すさまじ』を定義してみよう」として、第3段落の読解を求める。Jamboard を使って意見を共有しながら班単位で考える。次時は、これらを全体で発表・共有して「すさまじ」の語義を自分なりに“再定義”する。			
 【授業展開】 テーマとそのための条件を提示 「すさまじ」を定義してみよう ※班ごとに Jamboard を使ってまとめる 根拠となる場面を読み取るよう指示 「除目」（古典常識）を提示し説明 第1、2段落と第3段落の相違に着目するよう助言 他の班のボードを参考とするよう助言 次回の発表について指示  ↑ 班活動を見取りながら助言  【授業担当教員の感想】 ◎意見を出すハードルが下がり（主体的）、簡単に班員や他班の意見を共有（対話的）でき、個々の考えが深まる（深い学び）。 ◎モチベーションが高まるので、今後も続けていきたい。 △タッチペンやタイピングなどに習熟しておらず、時間がかかる。 △ボードを作成すること自体が活動の中心となってしまうがちである。			
参考となる HP 等			